



かしの木 第1号



令和7年度のスタートです！ どうぞよろしくお願いします



柔らかな春の風が心地よく感じるようになりました。校舎前の桜の木には薄紅色のつぼみがふくらんできています。鳥のさえずり、草木の芽吹き…。いよいよ待ち望んだ春の到来です。（雪が散らつくいたずらな天気も一瞬ありましたが…）

本日、10名の新入生を迎え、全校児童99名、そして、15名の教職員のもとで令和7年度の新たな一歩を踏み出しました。

本年度も、保護者の皆様はじめ、地域の皆様のご理解とご支援をいただきながら、子ども達が主役となる学校づくりを進めて参ります。

「ワクワク 楽しさ 幸せ いっぱいの渋川小」をキャッチフレーズに、安心・安全な学校づくり、感謝と感動を生む学校づくりを進めて参りたいと考えております。

大切なお子さんの健やかな成長のために、教職員一同、精一杯がんばって参ります。これまで同様、ご支援、ご協力をよろしくお願いします。

今年度の教職員組織

【校長】石川 淳	【6年担任】中塚 絢音
【教頭】渡辺 敏夫（二本松市立原瀬小学校より）	【かしの木担任】佐藤 愛
【教務主任】山口 美由紀	【養護教諭】大沼 倫（新採用）
【1年担任】鳴川 紀子（川俣町立川俣小学校より）	【主事】中村亜友美
【2年担任】紺野 香奈子	【用務】遠藤 幸広
【3年担任】長井 和輝（新採用）	【介助員】眞田 啓美
【4年担任】山田 丈	【S S S】長南 忠夫
【5年担任】本田 政史	

学校だより「かしの木」・学校HP(ホームページ)について

本年度も、学校だより「かしの木」の発行、学校HPを通して、子ども達の教育活動の様子をお伝えしていきたいと考えております。

ご意見いただいたことをもとに、タイムリーな情報発信に努めていきます。ぜひ多くの皆様にご覧いただきたいと思ひます。（お子様の個人情報保護については配慮して参ります）

学校ホームページアドレス

<https://city.nihonmatsu.lg.jp/school/page/page000015.html>



〈学校の教育目標〉

「心豊かで、たくましく生きる児童の育成」

よく学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

- 【知】 自ら学ぶ子どもを育てる
- 【徳】 認め合い、高め合う子どもを育てる
- 【体】 自ら健康を育む子どもを育てる

AIなど、科学進歩の発展により、将来、今ある職業の半数近くがなくなるという試算も出されています。

この厳しい社会を生き抜くため、子ども達に求められる力は、

- ・自ら学びに向かい、自ら学んでいく姿勢（自己マネジメント力）
- ・多様な考えをもつ人と互いを認め合いながら関わり合うこと（協働・協調）
- ・逆境に立っても、たくましく乗り切っていく力（忍耐、適応・対応）

のような力でしょうか…

年度はじめの職員会議で先生方と、次の点について確認しました。

- ☐ 子ども達が主役の学校づくりをする
- ☐ 「安心・安全」「信頼・信用」「感謝・感動」のある学校づくりをする

「ワクワク 楽しい 幸せ いっぱいの渋川小」（キャッチフレーズ）



これが本年度の目玉です。たくさんの「人」と関わりながら、たくさんの「本物」に触れ、みんなが「ワクワク」できる「楽しさ」あふれる学校にしていきたいと思えます。どうぞご協力をよろしくお願いします。

校長の独り言



年度はじめの私の密かな楽しみ。先生方の作る「学年だより」のタイトルである。

ここには、担任の先生方の熱い思いや願い、夢、決意や覚悟が込められている。（「今年1年、こんな学級にするぞっ！」「こんな子ども達を育てていくぞっ」）まるで我が子に名前を付けるかのように、「ああでもない、こうでもない」とこだわり抜き、考え抜き、長〜い思索の末にやっとの思いで生み出されるタイトル。なんと崇高で気高い瞬間なのだろう！

「にこにこ」「スマイル」「サンシャイン」「ジャンプ」「ご」「Unlimited」「わくわく」。

実に魅力的な素敵な名前が付いた。「おっ！」と思うタイトルもあるが、おたよりを読むと、しっかりと、担任の命名に対する思いが熱く述べられている。（ぜひ各ご家庭で子ども達と一緒に、タイトルに込められた担任の先生方の思いを感じ取ってほしいです）

学校だよりのタイトルは「かしの木」。大地にしっかりと根を張り、動じず、揺るがず、堂々としたシンボルツリーにあやかっている。今日も優しく、穏やかに、悠然とした姿を見せるかしの木。長い年月、渋川の地を、そして、子ども達を見守ってきたかしの木。「冷静沈着」…。かしの木を見る度に、（自分もドンと構えて懐深いそんな頼れる校長になりたいなあ…）と思っているが、そんな思いは夢のまた夢。今日も右往左往。動じて揺らいている。まずはこの「独り言」をちゃんと書けるように頑張らないと…。道はまだまだ遠し。「まあ、とりあえず、明日から頑張るか…」悠然とそびえ立つかしの木が許してくれているような気がして、先延ばしの頑張りを一人、静かに誓った。